

## 別紙

### <1> 特別企画展について

1. 名称 特別展「建国1100年 高麗<sup>こうらい</sup>—金属工芸の輝きと信仰—」
2. 会期 2018年10月6日(土)～11月11日(日)
3. 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
4. 入館料 一般930円、高校・大学生720円 小学・中学生 無料
5. 主催 大和文華館
6. 出陳品数 92件

代表的な展示作品 ※所載表記のないものは大和文華館所蔵。

◎重要文化財 ○重要美術品

#### 【第一章 花開く高麗の文化】

- 石造如来坐像 大和文華館
- 青磁象嵌花文合子 大和文華館
- 大方広仏華嚴經 卷第四 徳川美術館
- 大方広仏華嚴經 卷第三十五・三十六 大和文華館

#### 【第二章 信仰の美—舍利容器の系譜】

- 金銅飛天形飾金具 統一新羅時代 大和文華館
- 金銅円筒形舍利容器 統一新羅時代 東京国立博物館

#### 【第三章 信仰の美—高麗の荘厳具・梵鐘】

- 銀製鍍金観音菩薩・毘沙門天像小仏龕 東京国立博物館
- 銀製層塔形舍利容器及び金製内容器 奈良国立博物館
- 金銅八角舍利容器 「至治三年」(1323)銘 高麗美術館
- 金銅五鈷鈴 大和文華館
- 銅製銀象嵌柳水禽文浄瓶 大和文華館
- 銅製銀象嵌蒲柳水禽文浄瓶 泉屋博古館
- 青銅銀象嵌梵字宝相華唐草文香炉 根津美術館
- ◎梵鐘 「峻豊四年」(963)銘 広島・照蓮寺
- ◎梵鐘 「太平十二年」(1032)銘 滋賀・園城寺
- 梵鐘 「明唱七年」(1196)銘 東京国立博物館
- 梵鐘 「貞右[祐]十三年」(1225)銘 高麗美術館
- 金鼓 「崇慶二年(1213)甲戌(1214)」銘 東京国立博物館

#### 【第四章 装いの美—装身具・鏡・飲食器】

- 金銅粧刀鞘 大阪市立東洋陶磁美術館
- 金製蓮に亀文装飾具 東京国立博物館
- 鉄地金銀象嵌鏡架 愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 高麗唐草文鏡 京都国立博物館
- 銅製匙・箸 佐賀県立名護屋城博物館

## <2> 特別展会期中のイベントについて

### 1. 講演会「韓国で新たに出土した金工品の現況と特徴」

- (1) 日時・場所 2018年10月28日(日) 午後2時から講堂にて
- (2) 講師 韓国・東国大学校美術史学科教授 崔應天氏

### 2. 日曜美術講座「高麗の祈りの美」

- (1) 日時・場所 10月21日(日) 午後2時から講堂にて
- (2) 講師 大和文華館 学芸部係長 瀧朝子

### 3. 文華苑講座「日本庭園の現場から」

- (1) 日時・場所 11月4日(日) 午後2時から講堂にて
- (2) 講師 庭舎 MAKIOKA 代表・庭職人 牧岡一生氏

### 4. 列品解説

- (1) 日時・場所 毎週土曜日午後2時から展示場にて
- (2) 解説 大和文華館 学芸部

何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

以 上